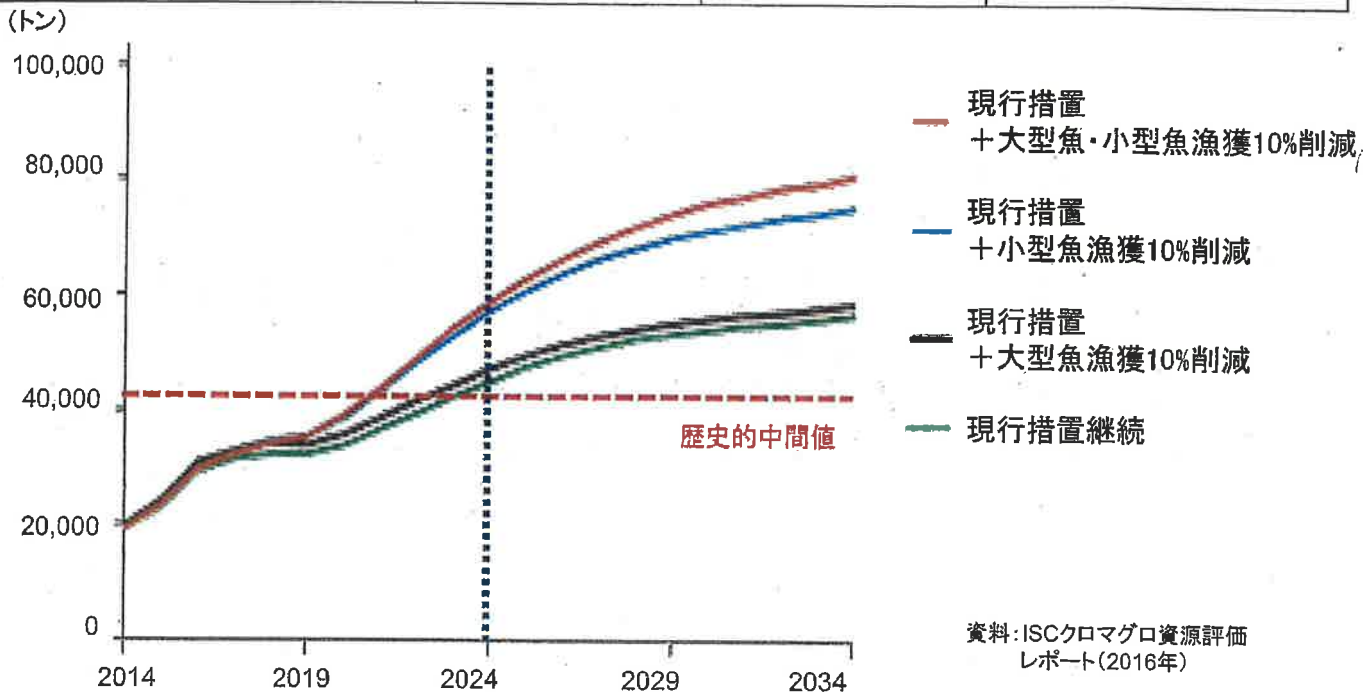


小型魚削減と大型魚削減の効果の比較

(低加入を想定した場合)

	現行措置継続	現行措置 +小型魚漁獲10%削減	現行措置 +大型魚漁獲10%削減	現行措置 +大型魚・小型魚漁獲10%削減
歴史的中間値 回復確率	61.5%	85.3%	67.2%	86.2%



サイズによる保存管理措置の効果の違いの試算例

1kgの1,000尾			5年後	増加率
1尾重量	1kg/尾	→	100kg/尾	100倍
尾数	1,000尾	→	120尾	12%
総重量	1t	→	12t	12倍

100kgの10尾			5年後	増加率
1尾重量	100kg/尾	→	220kg/尾	2.2倍
尾数	10尾	→	3尾	30%
総重量	1t	→	0.66t	0.66倍

注: 漁獲が無く、自然死亡だけで推定

同じ1トンの漁獲削減でも、**小型魚の削減の方が**、
大型魚の削減よりも、 $12 \div 0.66 = \text{約}18\text{倍}$ もの効果がある。